

落ちる葉っぱに目をとめて

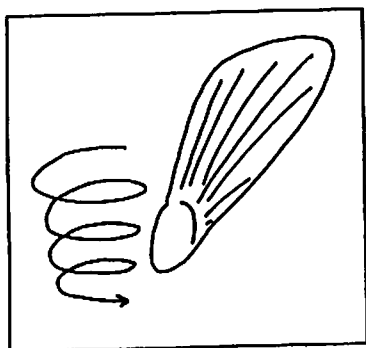
風の魅力を感じる活動へ！

札幌市立豊平小学校 遠藤裕志

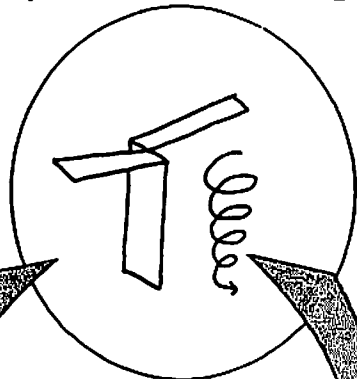
秋になって木々の間を風が吹き抜けると、次々と葉っぱが舞い落ちてきます。子どもは、“落ちてくる葉”に目を向けても“落ちている葉”にはあまり気をとめません。

そこで、いろいろな種類の落ち葉や実を拾いあげ、高いところから落としてみせます。葉や実によってはいろいろな落ち方をします。「ヒラヒラ」「ユラユラ」「フワリフワリ」…その中に、「クルクル」落ちるものがあります。それは、カエデの実。「変わった落ち方をする実だね。つくれないかな」と誘いかけてみます。

『よく見てごらん』



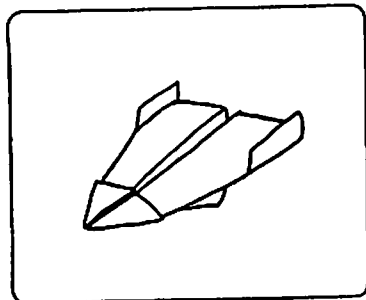
『こんなのができたよ』



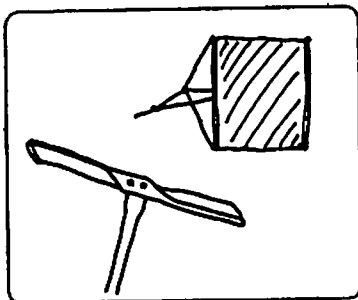
紙でつくった葉っぱを持ち寄って、外で遊ぶと楽しさ倍増。“風”が思わぬ動きをつくり出して子どもの活動を夢中にさせます。

これをきっかけに、“風”をテーマとした遊びの世界を広げてみてはいかがでしょうか。

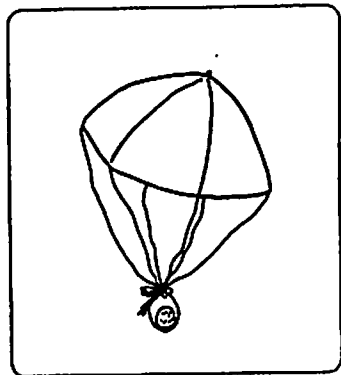
風が遊びをふくらませる！



紙飛行機



凧・竹トンボ



パラシュート